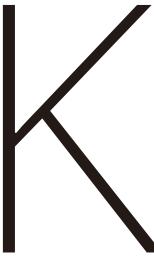


2026年1月1日発行

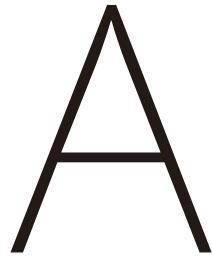


(公社)神奈川県理学療法士会ニュース  
The Kanagawa  
Physical therapy Association  
News

Kanagawa Physical therapy Association

1  
2026  
January  
No.306

<http://www.pt-kanagawa.or.jp>



○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 内田 賢一 ○編集 | 武田 正一  
○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーラリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数  
[2025.12.1現在] 5,954名

## Contents

- P1▶巻頭言 P3▶表彰報告 P4▶災害対策部報告 P6▶ライフサポート部報告 P8▶新人教育部報告
- P11▶生涯学習部報告 P14▶研修会・講習会 P16▶会長行動 P17▶information
- P18▶編集後記／原稿送付先

## 卷頭言

神奈川県理学療法士会 スポーツ局長 湘南鎌倉総合病院 リハビリテーション部 中田 周兵

# 子どもたちの未来をつくる 認定スクールトレーナー制度



近年、子どもたちを取り巻く運動環境は大きく変化している。スポーツ活動に熱心に取り組む児童生徒では、早期から専門的競技に集中し、成長期特有の障害を生じる例が増加している。一方で、日常的な運動習慣をほとんど持たず、体力や活動量が著しく低下している子どもも少なくない。このように「運動をしそうる子ども」と「運動をしなさそうる子ども」という二極化が進む中で、学校現場では外傷や障害のみならず、体力低下や姿勢不良、生活習慣病リスクなど多面的な課題が顕在化している。こうした状況に対応するため、教育現場における専門的支援の必要性が高まり、理学療法士が関与できる領域は拡大している。

その取り組みの一つとして注目されているのが、「認定スクールトレーナー制度（運動器の健康・日本協会）」である。2000年代初頭より始まった学校における運動器検診事業や2014年の学校保健安全法改正を背景に、運動器疾患の早期発見

と予防体制の整備を目的として制度化されたもので、2024年に正式に認定制度として承認された。

認定スクールトレーナーは、学校教育現場において児童生徒の健康管理、外傷・障害予防、応急対応、復帰支援などを担う専門職として期待されている。従来は教員や養護教諭、部活動指導者が個々に対応してきた領域に、医学的知識と科学的根拠を有する理学療法士が参画する意義は大きい。制度では、学校保健や教育制度の理解、成長段階別の健康課題、応急処置、運動指導理論などを体系的に学ぶ40単位のカリキュラムが設けられており、修了後に資格認定試験が実施される。資格は登録後5年間有効で、年1回の研修参加によって更新が行われる。

スクールトレーナーとして活動する理学療法士に求められるのは、臨床技術だけではない。教育現場での説明力やリスクマネジメント能力、学校関係者や他職種との協働力や調整力、そして児童生徒や保護者に寄り添う柔軟なコミュニケーション能力である。また、学校医や養護教諭、スクールカウンセラーなどとの連携を通じて、自らの専門性の範囲を理解しながら支援する姿勢が重要となる。

## 卷頭言

この制度はまだ発展途上にあるものの、子どもたちの健やかな成長と安全を守るために、今後ますます重要な役割を果たすことが期待されている。教育と医療をつなぐ存在として、地域や学校に信頼される理学療法士の活動が、子どもたちの未来を支える大きな力となるであろう。

神奈川県理学療法士会では、スポーツ局学校保健部がスクールトレーナーに関する事業を展開しており、関連する講習会の開催や学校からの講演依頼への対応などを行っている（写真）。スクールトレーナー事業に関心のある会員の方は、まずは学校保健部主催の講習会にご参加いただければ幸いである。



学校保健部の中尾部長が、川崎市立子母口小学校からの依頼を受け、「運動の大切さ」をテーマに講演を行いました。

## 有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い  
生活を手助けするものづくりを提供して参ります

〒247-0006 横浜市栄区笠間三丁目 40番 5号  
TEL045-892-5424 FAX045-894-2560 [www.kimura-gishLoo.jp](http://www.kimura-gishLoo.jp)



## 快足 インソール

特許取得済み

特許7095847号

国際特許申請済み

清潔な抗菌・防臭仕様

### 自分の足形がすぐに採れて 歩行を快適にサポート!



特許技術で、自分に最適な足形のインソールが簡単に作れます

- ▶足にバランス良く圧力をかけられる理想的なアーチを作り、バランス能力・運動機能をサポート
- ▶電子レンジで再度加熱し、足形を作り直せるサステナブルなリユース可能商品
- ▶S(22~24cm)・M(24~26cm)・L(26~28cm)の3サイズをラインナップ

本商品は医療器具ではありません。ケガや疾病の予防や改善を謳うものではありません



商品詳細は  
こちらから



●発売元 GSI Creos

(株)GSIクリオス アパレル部

TEL.06-6944-2626  
[https://www.gsi.co.jp](http://www.gsi.co.jp)

●企画元

株あたら家  
<https://atarashiya-nh.com>  
(公社)日本介護福祉士会 会員

NASAHI  
株式会社旭無線



# 令和7年11月に栄誉ある表彰を受けられた皆様

### ◆ 令和7年度 神奈川県保健衛生表彰 知事表彰

受賞者：内田 賢一 氏（公立大学法人 神奈川県立保健福祉大学）

長年にわたり理学療法士として県の保健衛生の発展に寄与されてきた功績が高く評価され、内田賢一氏が「令和7年度 神奈川県保健衛生表彰 知事表彰」を受賞されました。

表彰式は令和7年11月19日（水）、神奈川県庁本庁舎3階大会議場にて執り行われました。

#### 〈受賞者ご感想〉

「還暦を目前に控えたこのタイミングで、37年間の理学療法士人生を黒岩知事から表彰されることとなり、大変光栄であるとともに、身が引き締まる思いでございます。本会の会長として、これからも引き続き県民の保健衛生の向上に寄与してまいる所存です。」



### ◆ 令和7年度 神奈川県公衆衛生協会長表彰

受賞者：永堀 造男 氏（医療法人社団 三喜会 横浜新緑総合病院）

地域医療および公衆衛生活動における継続的な取り組みが認められ、永堀造男氏が本年度「神奈川県公衆衛生協会長表彰」を受賞されました。

表彰式は令和7年11月14日（金）、横浜ワールドポーターズ6階「イベントホールB」にて行われました。

#### 〈受賞者ご感想〉

「県士会の様々な事業に参加させていただき、とても楽しく活動を行ってきました。県士会は行政からの依頼の最初の窓口となることが多く、新鮮で良い経験ができました。ありがとうございます。」



### ◆ 令和7年度 神奈川県保健衛生表彰 平塚保健福祉事務所長表彰

受賞者：土井 篤 氏（医療法人社団幸寿会 介護老人保健施設 大磯幸寿苑）

地域に根ざした保健衛生活動や施設運営を通じ、多くの住民の健康支援に努めてこられた土井篤氏。

その積み重ねた功績が評価され、「令和7年度 神奈川県保健衛生表彰 平塚保健福祉事務所長表彰」を受賞されました。

表彰式は令和7年11月13日（木）、神奈川県平塚保健福祉事務所3階大会議室にて挙行されました。

#### 〈受賞者ご感想〉

「この度は、名譽ある表彰を頂き、誠にありがとうございます。これも日頃から支えてくださっている皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。これを励みに努力を重ね、地域に貢献できるように尽力して参ります。」



# 令和7年度ビッグレスキューかながわ参加報告

## ①避難所内保健医療福祉活動訓練

このたび、令和7年11月9日（日）に三浦市立岬陽小学校体育館（地域会場）で開催されました「令和7年度ビッグレスキューかながわ（避難所内保健医療福祉活動訓練）」に、神奈川DWAT（災害派遣福祉チーム）として参加しました。本会からは、4名の神奈川DWAT登録員が参加しました。

本訓練は、能登半島地震等の教訓を踏まえ、避難生活における身体的負担を原因とする「災害関連死」を防ぐことを主眼とし、発災から1週間～1ヶ月程度の「亜急性期」における保健・医療・福祉の関係機関の連携強化および役割確認を図ることを目的としています。

私は昨年度に続き2度目の参加となり、本会災害対策部部員がDMAT（災害派遣医療チーム）として、別会場の社会福祉施設訓練に参加するなか、神奈川DWAT統括として活動を取りまとめ、避難所内の支援活動を展開しました。今回のDWATチームは、神奈川県地域福祉課災害福祉グループ、県社協、登録員、総勢21名の体制で臨み、避難所内では相談窓口対応の2隊、巡回支援隊の2隊で支援活動を展開しました。訓練では、DWATが避難者役の方々に対しアセスメントを実施し、この一般避難所での生活継続が困難と判断されるケースをかながわDPAT（災害派遣精神医療チーム）や三浦市保健師チームと連携しながら2例特定しました。その後直ちに、二次避難所（福祉避難所）への移送が望ましい旨を三浦市福祉課（福祉避難所担当者）へ報告する訓練を実施しました。この移送調整の過程では、美山特養ホーム、遊楽の丘など、三浦市と協定を締結する施設の施設長も参加されており、生活困難ケースの多様なニーズと、それを円滑に引き継ぐための行政（三浦市）と福祉施設側の連携手順（災害時緊急受入要請書の発行など）を確認・共有する貴重な機会となりました。

三浦市が想定する大正型関東地震（最大震度6

強～7）では、令和6年能登半島地震と同様に半島型災害の様相を呈し、アクセシビリティの脆弱性に起因したライフラインの長期途絶といった複合的な被害が懸念されます。こうした環境下で「生活不活発病」や「災害関連死」をゼロにするためには、行政とそれぞれの専門性を活かした各支援チーム（DMAT、DWAT、JMAT、DPAT等）が緊密に協同する取り組みが不可欠です。

今回の訓練で、要配慮者のアセスメントから福祉避難所への受入調整までの一連の流れを多職種で実践し、その連携の端緒についた、連携の第一歩を踏めたと確信しています。一方で、実際に福祉避難所側の施設長からは、災害時における保健医療福祉の専門職との連携は必要であるという認識が改めて示されており、避難生活が長期化することによるADL低下の予防に、私たち理学療法士の役割も重要であることが再認識されました。ここから、この訓練でみえた具体的な課題の解決に向けた見直しを、DWATとしても、また本会としても、しっかりとサポートし、関わっていきたいと思います。特に、災害発生時に要配慮者をスムーズに避難・移送するためには、平時から、個別避難計画の策定支援を重点的な平時対策として、行政や地域と協同し進めてい



かながわDWAT統括（筆者）から各隊リーダーへの要配慮者情報の伝達

## 活動報告Ⅱ 災害対策部

く必要性が強く示唆されました。行政と専門職が互いに守り合う姿勢を示し、住民の健康と生活を守り抜く体制の強化に貢献していきたいと考えています。



避難所から福祉避難所への移送に関するケース会議

### ② DMATによる福祉施設訓練

同じく、神奈川県による総合防災訓練「ビックレスキューかながわ」に、神奈川DWAT登録員として参加しました。自身、当訓練への参加は3度目で、海老名市開催の際は神奈川県作業療法士会ブースでの協働参加、厚木市開催では神奈川DWAT隊員として初めて、被災後3週間を想定された避難所内保健医療福祉活動訓練に参加し、多くの学びと今後の課題を実感しました。

今回は、神奈川県初となる福祉施設支援を目的としたDMAT訓練が行われた三浦市にある社会福祉法人啓生会 特別養護老人ホームはまゆう（地域会



場）を見学させていただきました。

この見学は今後、活動する保健医療福祉チームの連携を目的に行われ、実際の活動手順や支援評価方法だけでなく、受援する施設側への災害医療教育など多くの場面を見学し、訓練ではDMATによる施設概要聞き取りや入居者リスト及び搬送者選定、聞き取りを基にした施設評価「現状分析と課題」の作成を行い、能登半島地震でも行われた施設運営の支援に関する実働を垣間見ることができました。

見学の中で、施設職員及びDWAT隊員、見学者には福祉介護職種が多く、医療専門用語や災害医療に関する共通認識が薄いこと、情報共有における配慮について、医療ニーズの判断など多くの点について今後共有すべき課題があることを学びました。

また、実働での連携を考えると、福祉として行える支援の具体的な提示が必要であること、多くの支援チームが参加するなかで、施設や利用者を配慮した役割分担が行えるよう、平時からお互いの役割や活動内容を周知、検討が必要であると痛感しました。

理学療法士として、災害医療、保健医療活動だけでなく、生活支援としての福祉・介護ニーズにも広く対応できる職種であることを誇りに思い、



各方面でどのように職能を活かした活動が行えるか課題を整理しながら、今後の活動計画に役立て、平時での連携や活動準備に役立てていきたいと考えています。

## 9月28日開催・研修会報告

# 「妊娠中の身体の変化を知ろう」 ～職場全体で理解し、支え合うために～

ライフサポート部  
活動報告  
職場環境を考える

第89報

### 開催の目的

みなさん妊娠による身体の変化はどのくらい知っていますか？

身体の変化はもちろん実は心の変化も大きいんです。

今回の研修会は「妊娠中の心身の変化を知る」ことをテーマに開催しました。妊娠による身体的・心理的变化を理解し、共通認識を持つことで、“妊娠しても働き続けられる職場づくり”を考えるきっかけとすることを目的としました。

### 講義内容

講師からは、妊娠期に起こるホルモンや姿勢・運動器の変化、腰痛や恥骨痛、尿漏れなどのマイナートラブル、さらにはメンタルヘルスの重要性まで、幅広い内容が紹介されました。特に、リラキシンによる関節弛緩や腹直筋離開（DRA）といった理学療法士として知っておくべき生理学的变化は、参加者の関心を集めました。

### グループワーク「各施設の取り組み」

後半は、各施設の取り組みや現場での工夫について意見交換を行いました。テーマは「妊婦の働き方」「職場の配慮」「男性育休」など。

#### ● 妊婦スタッフへの配慮と働き方

- ・妊娠中のマイナートラブル（腰痛・尿漏れ・疲労感など）に対するフォローオン体制が十分でない職場もある。人員が多い職場では、負担を分担したり、屋外歩行などの介助を他スタッフがフォローできる。一方、少人数の施設では業務調整が難しく、妊婦本人に負担が偏ることも。
- ・リフトなどの福祉機器が整っている職場では身体負担が少ない。
- ・妊娠中は「デスクワーク中心」や「軽作業中心」への配置転換が有効だが、「臨床から離れる寂しさ」「申し訳なさ」を感じるという声も。
- ・ベッドサイドでのリハは想像以上に体力を要し、体調に応じた柔軟な勤務調整が求められる。「横になれるスペースがあるだけでも助かる」との意見もあり、環境面での配慮の重要性が共有された。
- ・妊娠中の職員から「こうしてほしい」という意見は出にくいため、周囲の観察力と日常的なコミュニケーションが鍵になる。

#### ● 男性の育休と職場環境

- ・男性育休の取得率は上がっており、2～3か月の取得が一般的になってきたという声も。
- ・「休みやすさ」「有休の取りやすさ」「融通の利く勤務体制」が働きやすさに直結する。一方で、職場を離れることへの不安や、業務負担の増加を感じるケースもあり、男女問わず「相互に話し合って最善を探すこと」が重要とされた。
- ・面談や相談の機会を設けること、先輩ママ・パパ職員がいる職場では安心感があるとの意見もあった。

## 活動報告Ⅲ ライフサポート部

### ● 印象的な声

「気を遣ってもらえるのはありがたいが、申し訳なさもある」  
「妊婦本人の体調に合わせて柔軟にフォローできる仕組みが理想」  
「休みを Google フォームで申請できるようになってストレスが減った」  
「コミュニケーションを取りながら、本人が一番安心して働ける形と一緒に探すことが大切」

### おわりに

妊娠・出産を経験するスタッフを支えるには、個人の理解だけでなく、職場全体の協力体制と共通認識が不可欠です。今回の研修会は、身体・心理・制度の三方向から妊娠期を捉え、「支え合いながら働く職場」づくりを考える貴重な機会となりました。

ライフサポート部では、今後も“誰もが安心して働く環境づくり”をテーマに活動を続けていきます。

### 今後の活動予定

#### ① 「妊娠中のからだの変化を知って、働きやすい職場について考える」研修会は毎年開催

多くの方に関心を持っていただきたい内容として、毎年開催する予定です。詳細が決まりましたら、県士会の HP、LINE、ライフサポート部の X などでお知らせします。

#### ② 2月1日県学会にライフサポート部はブース出展します！

神奈川県理学療法士学会では、パパ育休に関する情報を中心に、動画放映、意見交換などできればと思っています。出産、育児と就業の両立はどの立場の人も他人事ではありません。ちょっとでも関心を持つてくれる人を増やしたいです！関心ある方はもちろんのこと、関係ないんだよなと思う方も通りすがっていただければ嬉しいです。アンケート回答者には粗品プレゼント

#### ③ HP・X にて情報発信中

これまでのニュース記事、調査報告、関連情報はホームページに掲載しています。少しでもこれらの情報が知らない人にも目にとまるよう X も投稿しています。フォローお願いします。



X アカウント↑

株式会社エヌ・エフ・エーは

保険を通じて暮らしやビジネスを  
サポートします



NFA

株式会社 エヌ・エフ・エー

保険のトータルプランナー

〒110-0015

東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階

TEL.03-5818-0711(代表) FAX.03-5818-0710

<https://www.nfa-ins.co.jp>

# 生涯学習制度 前・後期の研修状況について（報告）

## ● 前期研修（最短 2 年間）

2024 年度入会された方は、最短で今年度で前期研修が修了となります。進捗はいかがでしょうか。e ラーニングはいつでも受講できますので、ついつい後回しになってしまいがちです。計画的にスマートステップで履修をしてください。2024 年度入会者と 2023 度入会された方の研修状況をご報告します（2025 年 11 月 22 日時点）。

### ● 2023 年度入会者について

- ① 前期研修の修了者の割合は、全体の 34.1%
- ② 未修了者のうち、マイページで実地研修 D の登録をしていない方が 80.8% となっています。受講途中または終了後に申請しても受講は認められますが、基本的には受講申請後に実地研修を開始する流れで履修するものですので、早めに実地研修 D の申請をしてください。

### ● 2024 年度入会者について

- ① 前期研修の全コマの履修が完了している割合は、全体の 6.5%
- ② 1 コマ以上の e- ラーニングや実地研修 D の履修をしている割合は、全体の 50% となっています（半分の方がまだ前期研修を進めていないこともあります）。

## ● 後期研修（最短 3 年間）

2020 年度に入会された方が最短で 2024 年度で後期研修が修了し、2025 年から登録理学療法士となります。2020 年度入会者で後期研修が修了している割合は、全体の 8.0% となっています（2025 年 11 月 22 日時点）。昨年より症例検討の申請数が増えてきているものの E-1～E-3 の履修が進んでいない 様子が伺えます。これは、後期研修をしている会員本人だけでは履修ができません。所属施設の登録理学療法士の方が「士会承認症例検討会\*」を計画していただき、開催 2 週間以上前にマイページから申請をしていただく必要があります。つきまして、各所属施設の新人教育担当の方や管理者の方が、声かけをしていただき、E-1～E-3 の履修を進めてください。本会の新人教育部で開催する症例検討会は、第 42 回の県学会で開催予定となっていますが、定員に限りがあります。是非各所属施設やブロックでの症例検討会を開催していただけますようお願い致します。

\*士会承認症例検討会とは、30 分以上かけて行う症例検討会となります。各所属の登録理学療法士が事前にマイページにて申請をすると発表または聴講した後期研修者にコマの取得がされます。



# 第42回神奈川県理学療法学会における 士会主催症例検討会（案内）

2026年2月1日にパシフィコ横浜で開催される県学会において、新人教育部では、士会主催症例検討会を2症例開催いたします。事前にマイページからご登録ください。

セミナーID：152093

セミナー名：【第42回県学会】E-1&3 症例検討会（対面のみ）

開催時間：2月1日（日）15時55分～16時55分

領域：神経系 E-1& 内部障害系 E-3

### 注意事項：

- ①神奈川県の会員のみを聴講対象としております。
- ②2つの症例検討に聴講が可能な方のみお申し込みください。
- ③座席に限りがあるため、事前の登録がない場合、聴講されても履修ができない可能性があります。
- ④事前申請した方は会場入り口で受付を行いますので、早めに会場にお越しください。
- ⑤履修を希望の方の遅刻は5分まで認めますが、それ以降の聴講の場合、コマの履修を認めることが出来ません。ご了承ください。
- ⑥Eを履修済み、または登録理学療法士の方は、事前申請は不要です。当日会場までお越しください。

## 前・後期研修者、教育指導を 実施・管理されている方へのアンケート（お願い）

2月にHPやLINE、第42回の県学会会場において、生涯学習制度の前後期研修に関する簡単なアンケートを予定しております。ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

有限会社足柄リハビリテーションサービス

社会貢献 社会実装

地域をリハビリテーションする会社

**ARS**

〒250-0853 小田原市 堀之内 218-3  
TEL: 0465-39-3730 FAX: 0465-37-5740  
<https://ashigara-reha.jp/>

小田原Lエール  
女性活躍推進優良企業  
ゴールドステージ認定

理学療法士 作業療法士 正・准看護師  
皆さんの活躍を待っている人がいます

スタッフ募集中\*施設見学受付中

訪問看護  
通所介護  
訪問介護  
小規模多機能  
健康増進事業  
放課後等デイ  
保育所等  
訪問支援事業  
観光事業



# 2026年度 士会主催症例検討会の開催について（案内）

来年度は、5回の症例検討会をオンラインにて予定しています。聴講の定員には限りがあります（70名程度を予定）。先着順となりますので、ご了承ください。

また各検討会にて、発表者3名を募集しています。発表者は、1回の発表で、1コマ分を取得することができます（聴講の場合は1／3コマです）。発表時間は、10分です。少しでも興味がある方は、マイページでの申請または、[syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp](mailto:syoreikentou@pt-kanagawa.or.jp)までご連絡ください！！

詳細は、本会HPとLINE（公益社団法人 神奈川県理学療法会で検索）にてお知らせいたしますので、ご確認をお願いします。

開催回数	開催日	領域	発表者申し込み開始	聴講者申し込み開始
1	4月19日（日）10時～	神経系 (E-1)	1月19日	2月19日
2	6月14日（日）10時～	内部障害系 (E-3)	3月14日	4月14日
3	9月27日（日）10時～	運動器障害系 (E-2)	6月27日	7月27日
4	11月29日（日）10時～	内部障害系 (E-3)	8月29日	9月29日
5	2027年2月頃	神経系 (E-1)	3か月前	2か月前

### 新人教育部員のつぶやき…

3年間、部長として皆さんの新人教育に携わらせていただいたことに感謝します。コロナ前の対面研修で300名以上が集まった日々は懐かしい思い出です。今はオンライン中心で、移動の負担がなく学びやすい環境になりましたが、直接的なフォローが難しくなったのも事実です。理学療法士にとって資格取得はゴールではなくスタート。患者さんや県民の皆様の“自分らしさ”

を支えるため、生涯学習は欠かせません。新人教育部では、今後も登録理学療法士まで引き続き支援させていただきます。義務感ではなく主体的な学びへ、そして定期的な更新にも積極的に取り組んでください。未来の理学療法を共に築いていきましょう。

（新人教育部部長 神奈川県立保健福祉大学  
藤田 峰子）



# 2025年度 (公社) 神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催講習会のお知らせ

御確認の上、日本理学療法士協会「マイページ」から登録をお願いします。

詳細（履修ポイント、申込受付期間 等）は日本理学療法士協会マイページ等を御確認ください。

いずれも（2回目）は（1回目）に生配信で開催した講習会の録画配信となります。御注意ください。

### 【神奈川県理学療法士会 生涯学習部主催「歩行障害」講習会】

テーマ：今、歩行の基本を再確認

内 容：理学療法を行う上で、歩行練習は不可欠であり日常とも言えますが、それゆえに「日常化」してしまい、基本を再確認する、練習を考え直す、という機会を逸してはいないでしょうか？  
講習会の前半は、歩行分析の権威である山本澄子先生にお話いただき、歩行の基本を再確認します。後半は、2名の理学療法士から、症例を通じて、片麻痺者の歩行の特徴や、歩行練習の一案を提示させていただきます。

生配信では、チャット機能を利用し、受講者の方から御質問をお受けするだけでなく、悩みや工夫などの意見交換をしていただきながら歩行練習を再考できればと考えています。

「明日からやってみたい」と思える歩行練習のヒントを得る機会にしていただきたいです。

講 師：山本 澄子（国際医療福祉大学大学院 福祉支援工学分野教授 エンジニア）

熊木 由美子（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）

三浦 周（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）

日 時：(1回目) 2025年11月30日(日) 10:00～13:00 ← 終了しました

(2回目) 2026年1月16日(金) 12:00～1月26日(月) 12:00

質問受付〆切 2026年1月27日(火) 12:00

### 注意事項

#### 【受講費に関して】

\*受講費：本会会員 3,000円、他都道府県士会会員 6,000円

\*受講費は事前に振り込みをするか、カードでの引き落としとなります。

振り込みの場合は手数料を御負担ください。

\*入金確認ができましたら、受講登録が完了します。

\*納入期限の時点で入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせいただきます。

\*納入後のキャンセルにつきましては、受講費の返還はされませんので御了承ください。

\*領収証が必要な方は、日本理学療法士協会のマイページよりダウンロードしてください。

#### 【申し込みに関して】

\*キャリアメール（携帯電話のメール）は登録しないでください。

(連絡メールが届かないことや視聴できないことが多発しております。携帯メールで登録した場合に生じたエラーについては対応できませんので、くれぐれも御注意ください。)

## 活動報告Ⅴ 生涯学習部

- \*基本的に、日本理学療法士協会のマイページに登録されたメールアドレスを使用させていただきます。
- \*セキュリティの設定により、連絡メールが迷惑メールフォルダに振り分けられている場合がございます。必ず御確認をお願いいたします。
- \*登録アドレスの不備により連絡メールが届かない場合の責任は負いかねます。

### 【視聴登録・視聴に関して】

- \*視聴の際には、必ず申込時と同一のメールアドレスで登録してください。
- \*本講習会はログイン時にパスワードを設定し、申込者のみ受講いただけます。複数人での視聴は禁止いたします。万が一、申込者以外の視聴が確認された場合、主催者側で当該者の退室、あるいは視聴制限を行う可能性もございます。
- \*上記注意事項に違反している場合、視聴されてもポイント付与、受講費の返還はされませんので御注意ください。
- \*各個人のシステムトラブル等には対応しかねます。  
予め御自身が使用される機器のWEB環境を十分に御確認ください。  
(事前の動作確認を推奨いたします。)
- \*受講中の各個人のシステムトラブルによる通信障害はいかなる場合も受講費の返還およびポイント付与の対象とはなりません。
- \*受講中の録音、録画、撮影等は固く禁じます。  
発見した場合、今後の受講禁止等の罰則を与えます。

### 【ポイント付与に関して】

- \*ポイント付与等の一切は日本理学療法士協会の管理となっております。  
日本理学療法士協会の案内を御参照くださいますようお願いいたします。
- \*JPTA（日本理学療法士協会）のアプリを使用いたします。  
講習会開始までに必ずダウンロードをお願いいたします。
- \*講義の途中と終了時にQRコードを表示いたします。  
QRコードの読み取りをもって受講を承認いたしますので、JPTAのアプリを御準備の上、受講いただきますようお願いいたします。
- \*講義の2/3以上の時間の出席が確認できない場合、ポイントは付与されません。
- \*生配信では休憩時間中も接続したままにしていただきますようお願いいたします。
- \*ポイント付与には一定の期間を要します。
- \*注意事項に抵触する場合、ポイントは付与されません。

### 【個人情報保護に関して】

- \*御提供いただきました個人情報は、講習会の御出席の確認、講習会に必要な連絡のためにのみ使用いたします。  
個人情報は、主催関係者および業務委託先を除く第三者に開示・提供することはありません。  
個人情報は、本会の個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理いたします。

申込をもって、本注意事項を御確認の上、御同意いただいたものとみなします。

# 活動報告Ⅴ 生涯学習部

## お問い合わせ先

(公社) 神奈川県理学療法士会 生涯学習部

E-mail : shogaigakushu@pt-kanagawa.or.jp お問合わせはメールでお願いします。

\*上記注意事項に記載済事項に関してはお答えできませんので御了承ください。

**必ず、表題、御所属、御名前を御記載ください。**

11月に開催いたしました講習会におきまして、お送りしたパスワードに誤りがございました。受講いただきました皆様に御迷惑をおかけいたしましたことをお詫び申し上げます。



# Gift

オリジナルカーシート  
(150センチ程度まで)

日本ウイール・チェア株式会社  
〒188-0014 東京都西東京市芝久保町2-22-31  
TEL 042-463-1511 FAX 042-463-3730

そのほか当社では  
**福祉用具レンタル・販売**  
も取り扱っています



NIHON WHEELCHAIRS  
<http://nwc-kurumaisu.com/>

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS  
**SP-i 湘南義肢研究所**

整形靴から義足、車いすまで



神奈川で半世紀  
これからも気分の上がる装具をお届けします！



最新情報はFacebookで

横須賀市小川町27 TEL 046-822-6722 <https://www.sp-i.net>



## 【触診が苦手な方限定】第37期 6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー BASICコース 信頼される療法士の土台を作る

テー マ：3ヶ月で触診の技術を磨き、評価・アプローチを効率的に行えるようになる。

内 容：触診の技術に自信がありますか？多くの療法士が触診の苦手意識や治療効果の不明確さに悩んでいます。この根本には触診技術の不足があります。当セミナーは、André Aubin らの「7ステップ触診法」を基に、3ヶ月間の集中プログラムを提供。少人数制で実技中心のカリキュラムにより、確実に技術を習得できます。

コース構成：1ヶ月目体幹編

2ヶ月目上下肢編 1

3ヶ月目上下肢編 2

各回で触診、モビライゼーション、筋膜のリリースを学びます。この機会に療法士としての土台を築き、患者様から信頼される療法士になりましょう。

開催日時：第37期（土日）

2026年 1月10、11日

2月7、8日 3月7、8日

9時30分～16時30分（休憩あり）

\*都合の悪い日程は振替受講が可能です。

会 場：〒233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスタワー  
内 ウィリング横浜（京浜急行／横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車 徒歩3分）

受 講 料：6日間お申込みで66,000円（税込）  
(テキスト代含む)

講 師：大塚久 理学療法士

定 員：24名限定

注意事項：HPよりお申し込みください

<https://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

お問い合わせ：療法士活性化委員会事務局：  
ryohoshikasseika@gmail.com

## 【触診が苦手な方限定】第38期 6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー BASICコース 信頼される療法士の土台を作る

テー マ：3ヶ月で触診の技術を磨き、評価・アプローチを効率的に行えるようになる。

内 容：触診の技術に自信がありますか？多くの療法士が触診の苦手意識や治療効果の不明確さに悩んでいます。この根本には触診技術の不足があります。当セミナーは、André Aubin らの「7ステップ触診法」を基に、3ヶ月間の集中プログラムを提供。少人数制で実技中心のカリキュラムにより、確実に技術を習得できます。

コース構成：1ヶ月目体幹編

2ヶ月目上下肢編 1

3ヶ月目上下肢編 2

各回で触診、モビライゼーション、筋膜のリリースを学びます。この機会に療法士としての土台を築き、患者様から信頼される療法士になりましょう。

開催日時：第38期（土日）

2026年 4月4、5日

5月9、10日 6月6、7日

9時30分～16時30分（休憩あり）

## 研修会・講習会

\*都合の悪い日程は振替受講が可能です。  
会 場：〒233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-6-1 ゆめおおおかオフィスセンター内 ウィリング横浜（京浜急行／横浜市営地下鉄「上大岡」駅下車 徒歩3分）  
受 講 料：6日間お申込みで66,000円（税込）（テキスト代含む）

講 師：大塚久 理学療法士  
定 員：24名限定  
注意事項：HPよりお申し込みください  
<https://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>  
お問い合わせ：療法士活性化委員会事務局：  
ryohoshikasseika@gmail.com

## 令和7年度 呼吸介助実技研修受講者募集のご案内 ～在宅で活用できる！呼吸ケアのスキル～

テー マ：酸素療法や人工呼吸管理などの呼吸ケアが必要な患者に対する呼吸介助の理論を学ぶとともに、基本的な呼吸介助手技を習得し、換気の改善や排痰に実践的に応用できることを目指します。

内 容：神奈川県立保健福祉大学実践教育センターより、「令和7年度 呼吸介助実技研修～在宅で活用できる！呼吸ケアのスキル～」研修開催ご案内です。詳細は、実践教育センターホームページ「呼吸介助実技研修～在宅で活用できる！呼吸ケアのスキル～」をご覧ください。

皆さまのご応募をお待ちしています。  
また、職場やご友人の方へのご案内をお願いします。

開催日時：令和8年2月21日（土）10時～16時  
会 場：神奈川県立保健福祉大学横須賀キャンパス（横須賀市平成町1-10-1）

受 講 料：2,000円（税込）

講 師：神奈川県立保健福祉大学  
保健福祉学部リハビリテーション学科  
理学療法学専攻 准教授 内田 賢一、  
准教授 島津 尚子、助教 浅井 直樹  
国家公務員共済組合連合会 横須賀共  
済病院リハビリテーション科 副技師  
長 木村 充広

定 員：呼吸ケアに関わっている方、または呼吸ケアに興味・関心がある看護師、理学療法士 20名程度

注意事項：応募資格・応募要件を満たした者で、  
申し込み順とします。なお、申込者が  
募集人員を超過した場合は、以下の選  
考基準に基づき受講決定します。

- ①神奈川県内在住又は在勤者
- ②呼吸ケアに関わっている方

お問い合わせ：実践教育センター実践教育部  
呼吸介助実技研修 担当  
電話：045-366-5891（直通）  
メールアドレス：kensyu-17.j@kuhs.ac.jp

## 日本リハビリテーション連携科学学会 第27回大会

テー マ：未来を拓くプレシジョン・リハビリテーションの実践

内 容：リハビリテーション諸科学の有機的な連携、ネットワーク、総合的なリハビリテーションを実現するための現場の実践に即した研究と実践を重視した、

ジョイントシンポジウム、共催セミナー、学術発表などを行います

開催日時：2026年2月28日（土）～3月1日（日）

会 場：ウィリング横浜

お問い合わせ：連絡先：湘南医療大学

yuji.morio@sums.ac.jp（森尾）

# 会長行動報告

報告期間 令和7年（2025年）9月1日～令和7年（2025年）11月30日

当該期間の会長職務の執行状況を報告します。

9月	4日(木)	第45回関プロ学会 第10回準備委員会	Web
		第6回常任理事会	Web
	7日(日)	神奈川県医師会 新役員披露会	横浜
	24日(水)	神奈川県医療専門職連合会 理事会	Web
	25日(木)	第3回事業運営会議	Web
10月	2日(木)	第45回関プロ学会 第11回準備委員会	Web
		第7回常任理事会	Web
	10日(金)	日本理学療法士協会 創立60周年記念式典・祝賀会	御成門
	11日(土)	日本理学療法士協会 組織運営協議会	六本木
	15日(水)	第44回県病院学会 演題評価委員	横浜
	22日(水)	神奈川産業保健総合支援センター 業務検討会議	横浜
	25日(土)	第4回事業運営会議	横浜
11月	6日(木)	組織運営検討会議	六本木
		組織運営の相談	六本木
		第45回関プロ学会 第12回準備委員会	Web
		第8回常任理事会	Web
	12日(水)	第44回関プロ学会次期学長挨拶用写真撮影	桜木町
	13日(木)	第44回関プロ学会次期学長挨拶用写真撮影	生麦
	14日(金)	令和7年度神奈川県病院医療関係団体連絡協議会	県庁
	15日(土)	第44回関プロ協議会 山梨学会 開会式	甲府
		磯野学会長基調講演 座長	甲府
		関プロ協議会 土会長会議	甲府
		関プロ協議会 土会長懇親会	甲府
	16日(日)	関プロ協議会 働きやすい環境創り検討委員会	甲府
		次期学長挨拶	甲府
	17日(月)	神奈川産業保健総合支援センター 業務検討会議	横浜
	21日(金)	神奈川産業保健総合支援センター 相談員検討会議	横浜
	26日(水)	リハビリテーションを考える議員連盟総会	永田町
		神奈川県医療専門職連合会 理事会	Web
	27日(木)	第4回理事会	Web



# 日本理学療法士協会会員証・協会マイページ ログインについて

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。

今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必要になります。携帯する様にお願いします。



紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意下さい。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必須となります。

\*「ID・パスワード再発行」はログインページの「ログインできない方はこちら」をクリックし、再発行申請手続きを行ってください。

\*会員証・ID・パスワードの再発行の申請について詳しくは、日本理学療法士協会のホームページをご覧下さい。ご不明な点は、日本理学療法士協会へお問合せをお願いいたします。

## 年会費（納入方法）

年会費の納入方法は「クレジットカード決済」または「口座振替」となります。

クレジットカード決済ご利用可能なブランドは次のとおりです。（決済手数料負担なし）

VISA／mastercard／JCB／AMERICAN EXPRESS／Diners Club

\*日本理学療法士協会マイページから随時変更可能で

\*口座振替ご希望の方はお持ちの金融機関口座から引落出来ます。ご登録いただいてから引落決済が利用できるまでに1か月程度かかる場合があります。

\*いずれかの方法で決済ができない場合は、振込用紙を送付させていただきます。（納入手数料がかかります）



### 編集後記

1月号の巻頭言は湘南鎌倉総合病院の中田先生（PT）に認定スクールトレーナー制度についてご執筆頂きました。本制度は子供たちの健やかなる運動発達を促すものであると感じました。現代はスマートフォンやゲームで運動をしなくても遊べますし、暗くなるまで遊ぶなど怖いという社会情勢や、そもそも駆け回るような公園がないなど、気軽に仲間で集まり遊ぶこと自体の機会が減少しているように感じます。そこにPTの専門性を生かせるということは素晴らしい事ですね。また、我々の職域拡大にも大きく寄与します。是非みんなで関心を持って取り組みを推進したいですね。さて話は変わりますが、早いもので現編集係は本稿の1月号を持って任期が終わろうとしています。あっという間に4年が経過したと感じています。この間でNo.300号も越え、多くの方々に支えられ何とか継続していくことが出来きました。ご協力ありがとうございました。紙媒体からWebへ移行したこと大きな変化でした。KPAニュースの第1号は1971年6月17日発行です。紡がれたKPAニュースが益々発展しますよう今後もご協力よろしくお願ひいたします。（武田）

県内協会員の皆さんには、記事のご協力をはじめ、多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。紙面からデジタルでの配信に変更となり、会員の皆様にとって協会の活動がより身近にお届けできていれば幸いです。4年間、有難うございました。（須藤）

県士会の皆様、インフルエンザが猛威を振るい、寒さも厳しくなってきましたが、いかがお過ごでいらっしゃるか。今回の会報誌をもって、4年間という任期が終了となります。拙い文章での編集後記などお見苦しい部分もあったかとは思いますが、4年間ニュース編集委員の一員として携われたことに感謝いたします。（上垣）

### 神奈川県理学療法士会

神奈川県理学療法士会の  
公式アカウントがあります。

研修会やイベント、県士会からの  
重要な情報をLINEやXでお届けします！



友だち数 1262

#### ・ニュース編集係員・

担当理事：西田 友紀子  
(横浜市立みと赤十字病院)  
係 長：武田 正一  
(横浜リハビリテーション専門学校)  
→鈴木 智高  
(神奈川県立保健福祉大学)  
委 員：上垣 亮太  
(横浜リハビリテーション専門学校)  
須藤 ゆかり  
(横浜リハビリテーション専門学校)

次号の原稿締め切りは**2026年3月1日**です。

岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校  
理学療法学科（ニュース編集係宛）

[news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp](mailto:news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp)

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。

円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願ひいたします。